

地域のイベントでグルコセンサーを使用してきました

公衆衛生理事 吉野陽子

11月23日（日）いさはや健康フェスティバルがアエル商店街で開催されました。歯科衛生士会諫早支部は毎年参加し、お口の健康としてブラッシング指導や相談等を行っています。今回は、その中に令和7年度長崎県委託事業歯科衛生士資質向上の一環として咀嚼能力を計測するグルコセンサーのコーナーを設けました。専門学校の学生にも協力してもらい、来場者50人を対象に実施しました。

来場者は、高齢の方が多く、夫婦や親子連れも見られ、咀嚼能力を計測し結果の説明に一喜一憂する方も見られました。高齢者の半数以上は基準値を超えられていて、健康志向の高い傾向がうかがえました。

グルコセンサーを使用することで咀嚼能力を数値化し、基準値と比較することで、ご自分の咀嚼能力が現在どの程度なのかを知っていただき、今後どうすれば良いかまで繋げることができました。言葉だけでなく数値として可視化したことでモチベーションの向上に大きく影響したと思います。

口腔機能低下症の評価、訓練は歯科衛生士の業務に関わってきます。グルコセンサーを使いこなせることで、歯科医院また地域での口腔保健活動でお口の健康から健康寿命の延伸への良い手段になると思いました。



株式会社 GCWEB サイトより引用